



2022年全九州フェンシング選手権大会開催要項

(令和4年度全日本フェンシング選手権大会九州地区予選会)

1. 主催 九州フェンシング協会
2. 主管 大分県フェンシング協会
3. 後援 (公社) 日本フェンシング協会
4. 期日 令和4年7月16日(土)～17日(日)
5. 会場 7月16日(土) 個人戦
7月17日(日) 団体戦
サイクルショップコダマ大洲アリーナ
〒870-0908 大分市青葉町1番地 大洲運動公園内
TEL: 097-551-1511

6. 日程

日時	開始時刻	競技種目
7月16日(土)	8:30	開場
	8:50	フルーレ男女・最終コール
	8:50	代表者会議
	9:30	フルーレ男女個人戦
	12:00	エペ・サーブル男女・最終コール
	13:00	エペ・サーブル男女個人戦(予定)
	競技終了後	表彰式
7月17日(日)	8:30	開場
	8:50	フルーレ男女最終コール
	9:30	フルーレ男女団体戦
	11:00	エペ・サーブル男女最終コール
	12:00	エペ・サーブル男女団体戦(予定)
	競技終了後	表彰式

※ 参加人数によっては時間が早まったり遅くなったりしますので、余裕をもって会場へお越しください。

7. 試合規則

以下を除きFIE試合規則に準ずる。

FIE競技規則第1編第4章 選手の用具(武器-用具-衣服) 「選手の責務 t 20-1 選手は、自己の責任のもとに、又、危険を覚悟で武器、用具、衣服を着けてフェンシングを行う。」の競技規則および、選手は自分が加害者または被害者となるあらゆる事故に対して、責任を持たなければならない事を十分に理解して試合に挑むこと。

※ ルール・審判委員会2018年9月6日付け「胸部保護具他に関する規則適用について」2019年9月11日「電気サーブル用グローブに関する規定について」に準ずる。

8. 競技方法

◎個人戦（男子フルーレ・エペ・サーブル/女子フルーレ・エペ・サーブル）

①試合方法

プール戦とエリミナシオン・ディレクト方式で行なう。

プール戦は4～7人で行なう。（各試合は5本先取）

エリミナシオン・ディレクト進出者は、総参加選手数により80%～70%の範囲内とする。

なお、ベスト16までは10本先取とし、ベスト8からは15本先取とする。

決勝トーナメントは4人とし、3位決定戦を行わない。

②1回戦における順位決定（上位進出）方法

全体のプールの中で

- a. 勝率の高い方を上位とする。
- b. 指数（TD－TR）の高い方を上位とする。
- c. TDの多い方を上位とする。
- d. 2人以上の選手が32番目（16番目）で同位の場合は、バラージュを行う。

③プール戦について

- ・プール戦の対戦は、片方の選手がトゥッシュを5本先取した時、または、有効な試合時間が3分経過した時に終了し、その時点でトゥッシュを多く取っている選手が勝者となる。記録は5本先取したとき勝者にはVを記し、敗者にはその時点の突数のみを記す。
上記以外でトゥッシュに差がある場合は、勝者にはVの後にその時点の突数を記し、敗者にはその時点の突数のみを記す。
- ・規定時間終了時に同点の場合は次のとおりである。
 - 1) アドバンテージ決定のための抽選後、1分間を限度として1本勝負を行う。この間に勝者が決しない場合は、アドバンテージを有する選手が勝者となる。勝者にはVの後に同点時の突数を記し、敗者には同点時の突数のみを記す。
 - 2) 1本勝負で勝者が決した場合、記録表に記入するスコアは勝者にはVの後に同点時の突数に1本を加えた突数、敗者には同点時の突数のみを記入する。
 - 3) エペにおいては、4：4からのクー・ドゥブル及びタイムアップ後のクー・ドゥブルは記録しない。
- ④エリミナシオン・ディレクトについて
 - ・エリミナシオン・ディレクトの記録もプール戦に準ずる。
 - ・同所属の考慮の原則については、エリミナシオン・ディレクトには適用されない。

⑤本年度の全日本フェンシング選手権大会（個人戦各種別5名）の九州地区予選会を兼ねる。

◎団体戦（男子フルーレ・エペ・サーブル/女子フルーレ・エペ・サーブル）

① 試合方法

- 1) 各チームは監督1名、選手3名で構成され、場合によっては補欠1名がこれに加わる。なお、選手が監督を兼ねることができる。
- 2) 対戦は1試合3分間の9試合リレー方式。45本先取とする。時間終了時の扱いはFIE規則による。なお、試合はエリミナシオン・ディレクトで実施される。
- 3) 3位決定戦を行う。

- ② 本年度の全日本フェンシング選手権大会（団体戦）の九州地区予選会を兼ねる。
（男女フルレ2チーム 男女エペ1チーム サブール男子1チーム 女子2チーム）
※ まだ今年度の枠については、要項がHPアップされていないので、変更もありうる。

9. 参加資格

- ①（公社）日本フェンシング協会令和4年度登録会員の者で、九州ブロックの協会に所属（登録）している者。なお、コール時に、協会登録カードを確認することもあるので、当日必ず持参する事
- ② 怪我等に備え、必ずスポーツ安全保険などに加入していること（各自加入）

10. 表彰	各種目団体	1～3位まで賞状（優勝チームには優勝杯）
	各種目個人	1～3位まで金・銀・銅メダルと賞状

11. 用具検査 用具の検査は主審がピスト上で行う。
なお、不備の場合は最初からペナルティの対象となるので、注意すること。

12. 参加申込

※参加申込書は（公社）日本フェンシング協会の公式ホームページに掲載されているのでダウンロードして使用すること。

- ① 参加料
- | | | |
|-------|-----|--------|
| 個人1人 | 1種目 | 4,000円 |
| 団体1団体 | 1種目 | 5,000円 |
- ② 令和4年7月6日（水）正午までに参加料を下記口座に振り込み、別紙の参加申込書に必要事項を記入のうえ、電子メールで申し込むこと。
参加料の銀行振り込みの控えは保管しておくこと。
- ③ 参加申込メール送信先

- ・参加料振込先口座 大分銀行 古国府支店 普通預金 7522039
大分県フェンシング協会 理事長 村上 幸生（ムラカミ コウセイ）

- ・参加申込メール送信先 oita.fencing@gmail.com メールのみの受付

※件名・ファイル名に（所属団体名）を必ず記入すること。

例 2022年全九州フェンシング選手権大会申込（大分クラブ）

※メールのみの受付とする。受取り後返信メールをするので、届かない場合は連絡すること。

- ・連絡先 大分県フェンシング協会 漆間 雄昌 uruma-takemasa@oen.ed.jp

- ・確認 申込書・参加費の入金が確認できたら、確認のメールを送るので、申込期日を過ぎても確認メールがない場合は連絡すること。

④ 各県負担金

2019年度より負担金については九州各県フェンシング協会年会費（40,000円）に含まれています。年会費40,000円のうち30,000円を負担金として参加料振込口座にお振込ください。残りの10,000円につきましては後日、九州フェンシング協会担当県よりお連絡があります。

※負担金については、参加しない県についても負担すること。

※振込手数料は、参加者負担とする。

⑤ 帯同審判について

参加するにあたり1県1名の帯同審判員の派遣すること。
帯同審判員の派遣がない場合は、事前に令和4年7月6日（水）までに
40,000円の違約金をお支払いください。違約金を事前に納入がない
場合は参加を認められません。※九州理事会にて決定事項。

13. 個人戦の組み合わせ

シード順および組み合わせは主催者において実施し、試合当日コール後発表する。

14. 団体戦の組み合わせ

前年度優勝チーム及び第2位のチームをシードとし、その他のチームについて
は、7月17日（日）に抽選を行う。

15. 宿泊の手配について

宿泊については、各自でお取りください。

16. 参加種目について

参加種目については、各種目団体1チーム、個人については2種目以内とする。
(但し、エペとサーブルの2種目に参加することはできない)

【その他】 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ご来場される全ての方に検温・
参加者シート・行動の記録の提出をお願いいたします。詳細につきましては、
別紙記載事項を必ず熟読するようお願いいたします。

安全基準資料

競技における事故防止・安全管理について

【ジュニア・カデ大会等】

- ①ユニホーム上下 350N
- ②FIE 公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ③FIE 公認マーク付きマスク 1600N

胸部保護具及びマスクに関する規則について

- ①胸部保護具(チェストプロテクター/メッシュ製や硬い素材製)の着用について。
m25-4 ジャケット
- ②マスクの着用について(二重の安全確保システム)
m25-7 マスク a. メタル・タング付きマスク b. メタル・タングを伴わないマスク

電気サーブル用グローブに関する規定について

- ①FIE 公認サーブルグローブ・カブ付き（一体型）
- ②FIE 公認サーブルグローブ・カブなし+電気サーブル用カブ（分離型）

新型コロナウイルス感染症の感染防止に関して

会場へ来場される選手・監督・コーチ・引率者等は以下のことに留意し、行動に努めるようご協力をお願いいたします。

①会場へは、あらかじめ申請のあった者のみ入場を可能とする。

※選手・監督・コーチ・引率等も含む

②会場入場者は、参加者シート・来場1週間前までの検温・行動の記録を会場受付時に必ず提出すること。（未提出の場合は入場できません）

③会場入場者は、会場受付時に検温を行い、「37.5度」以上の者は入場できない。

④大会期間中（移動や宿泊施設内も含む）、必ずマスクを着用すること。また、こまめに消毒や石鹸を使用した手洗い等を行い、衛生を保つこと。

⑤会場内では、密（密集・密接）を避けること。また、選手・監督・コーチは、近距離での会話は、できるだけ行わないよう努め、パフォーマンス等の発声も行わないものとする。

⑥感染予防のため、「握手」「ハイタッチ」などの身体的な接触は避け、フィジカルディスタンスを保つこと。

⑦他人との道具やタオル・衣類の貸し借りは避け、飲み物や食事類の共有はしないこと。

⑧ゴミ類は基本的に持ち帰ることとする。特に、弁当がらや使用済みのマスク等の唾液が付着しているものは、必ずビニール袋へ入れ管理しておくこと。

⑨可能な方は、厚生労働省の推進する新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を、各自のスマートフォンへインストールしておくこと。（任意で強制ではありません）

⑩大会期間中、または大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症が発症した場合、必ず大会事務局までお申し出ください。

◎新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）アプリのインストール方法

• App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

【Google Play】



【App Store】

